

11月17日（水）14時一斉解禁

—進化するTAAF2022—

TAAF2022 PV解禁！！

ナレーションは人気声優の羽多野渉！

TAAF2020/2021 アニメ功労部門顕彰者のインタビューを盛り込んだ特別映像

『アニメの礎を担った人々』公開！

平素より大変お世話になっております。この度、東京アニメアワードフェスティバル実行委員会及び一般社団法人日本動画協会は、国際アニメーション映画祭「東京アニメアワードフェスティバル2022（TAAF2022）」を、来年2022年3月11日（金）から3月14日（月）までの4日間、池袋にて開催いたします。

TAAF2022PV

<https://youtube.com/playlist?list=PLE9OatfwBwtn2OH1z2yL7BUhNRuGtouNI>

※15秒バージョン・30秒バージョンの2バージョンございます。

TAAF2022のPV映像は一昨年、昨年に続き、『君の名は。』『おそ松さん』『天気の子』『ジョゼと虎と魚たち』など数多くのアニメーション作品の予告編を手がけている映像ディレクターの依田伸隆さん（10GAUGE）が制作！前回TAAF2021の各部門受賞作品を中心に、本映画祭に集まる幅広い作品や、TAAF2022のメインビジュアルも短い映像の中に惜しみなく盛り込んだ、華やかなPVに仕上がっております！

更に、ナレーションを務めるのは、『TAAFオンライン「アニメオブザイヤー部門」スペシャルインタビュー映像』に続き、人気声優の羽多野渉さん！15秒バージョンは明るく力強く、30秒バージョンは厳かで艶のあるナレーションを吹き込んでいただきました！



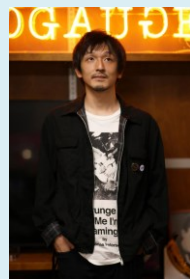
©2019 - Picolo Pictures - Bardaff Productions - RTBF - Kenet - Tous droits réservés
©"Filmcompany "Sneqa" 2019 / ©Кинокомпания «СНЕГА» 2019

羽多野 渉(はたのわたる)



3月13日生まれ。長野県出身。出演作品『アイドリッシュセブン』の八乙女 楽役をはじめ、『さんかく窓の外側は夜』の冷川理人役、『A3!』の卯木千景役、『僕のヒーローアカデミア』心操 人使役など、数多くの人気作品のキャラクターを演じ、声優として、精力的に活動を続けている。

依田 伸隆(よだのぶたか)



映像ディレクター/
制作会社10GAUGE代表
主に劇場作品の予告編やアニメーション作品のPV/CMM/MVなどを多数手がける。東京アニメアワードフェスティバル2018アニメオブザイヤー部門 美術・色彩・映像賞受賞。スペースシャワーアワード2020 BEST ANIMATION VIDEO受賞。

TAAF2020/2021年のアニメ功労部門顕彰者から学ぶ！ アニメ制作の裏側と歴史を紐解くスペシャルインタビュー映像 TAAFオンライン『アニメの礎を担った人々』公開！

TAAFの「アニメ功労部門」では、毎年、アニメーション産業および文化の発展に大きく寄与した方々を顕彰しております。今回は、TAAF2020/2021の顕彰者の皆様インタビューを行い、この方々が日本のアニメのどのような時代に、どのような活躍をされたのかを、みなさんに知っていただけるようなスペシャル映像を制作しました。本日、11月17日(水)～2022年3月31日(木)まで、『TAAFオンライン』にて限定配信致します。

～フェスティバル・ディレクター 竹内孝次よりコメント～

日本のアニメーション作品は2020年度、新作だけで年間約450作品ありました。TV作品に限っても300作品以上となります。1963年に7本のTV作品から始まり、約60年間で40倍を超えるに至りました。日本は今やアニメーションの大生産国であり、同時に世界に類を見ない大消費国となっています。そして毎年国内にとどまらず世界的ヒットとなる作品も生み出しています。このような現在の日本のアニメーションの活況があるのは、「アニメ功労部門」顕彰者の方々がその礎を築いてくれたからにほかならないと思います。

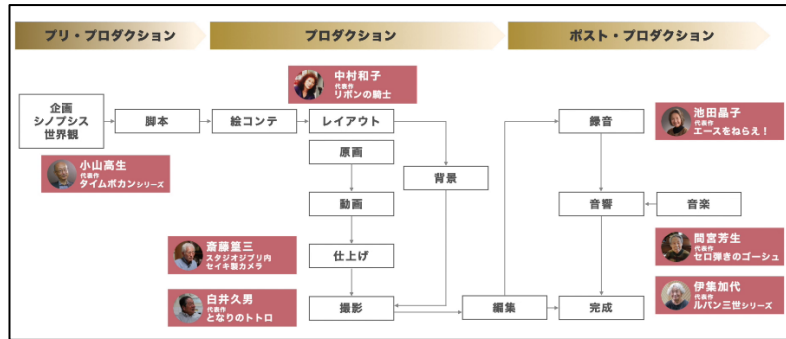
今回のスペシャル映像では、顕彰者の方々への感謝と共に、先駆者としての皆様の功績を辿っています。更なるアニメーションの発展に向けて、私たちが学ぶ点も多いと思いますので、是非貴重な映像をお楽しみください。

『アニメの礎を担った人々』概要

◆構成について◆

アニメーション制作の工程を辿りながら、顕彰者の皆様がどのパートでどのようなお仕事をなさったのかが分かるようにしてあります。

また顕彰者の皆様が活躍されたのは、アニメ界のどんな時期だったかのかも合わせて説明し、より深く理解いただける内容となっております。アニメ制作に携わっている方はもちろんのこと、アニメ制作を知らない方にも楽しんでいただける構成となっております。



◆紹介する顕彰者の皆さま◆

小山高生 (脚本家) TAAF2021アニメ功労部門顕彰者
『タイムボカンシリーズ 逆転イッパツマン』『DRAGON BALL Z』などギャグからアクションまで幅広いジャンルで活躍。シナリオライター育成にも尽力され、数多くの名だたる脚本家を輩出

中村和子 (アニメーター) TAAF2020アニメ功労部門顕彰者
『白蛇伝』、『リボンの騎士』など、東映動画、虫プロの黎明期から活躍し、両社の作品を支えた女性アニメーター

白井久男 (撮影監督) TAAF2020アニメ功労部門顕彰者
丁寧な仕事と創意工夫で監督たちの要求に的確に応え、TV・劇場アニメの名作群を手がけた撮影監督

(旧)株式会社セイキ (撮影機械等) TAAF2020アニメ功労部門顕彰者
アニメーション業界各社の撮影・制作現場を永年にわたりサポートした機材メーカー
※旧・株式会社セイキを代表し、斎藤篤三さんにインタビューを実施

伊集加代 (スタジオシンガー) TAAF2021アニメ功労部門顕彰者
『アタックNo.1』『アルプスの少女ハイジ』『銀河鉄道999』など、魅惑の歌声でアニメーションに潤いを与えた日本を代表するセッション・ボーカリスト



以下のTAAF公式HPより、ご視聴いただけます。

<https://www.taaf.jp/post/881>

※ご視聴にはTAAFオンライン参加登録(無料)が必要となります。

<東京アニメアワードフェスティバル 2022開催概要>

- 日程: 2022年3月11日(金)~3月14日(月)
- 会場: 東京・池袋
- 主催: 東京アニメアワードフェスティバル実行委員会、一般社団法人日本動画協会
- 共催: 東京都
- 事務局: 東京アニメアワードフェスティバル実行委員会事務局
(一般社団法人日本動画協会内)



■東京アニメアワードフェスティバル(TAAF)とは

2022年で9回目の開催となる東京アニメアワードフェスティバル(TAAF)は、2002年より「東京国際アニメフェア」の一環として行われていた「東京アニメアワード」を独立・発展させた国際アニメーション映画祭です。本フェスティバルは、「次世代のアニメーション制作を担う人材の発掘・育成等を行い、東京のアニメーション文化と産業の発展・振興を図ること」及び「東京の魅力を発信し、東京の観光振興に資すること」を目的とし、『東京がアニメーションのハブになる』を合言葉に、高いクオリティとオリジナリティに富む世界中の作品を東京で上映し、世界中のアニメーションを愛する人々との交流を図ること、クリエイターや観客に刺激と感動を提供すること、そしてその感動や刺激を糧にアニメーションの新たな波を東京から世界へ発信することを目指します。

■各アワードの紹介

◎コンペティション部門

広く国内外から、プロ・アマを問わず募集しています。60分以上の長編アニメーション、30分未満の短編アニメーションのそれぞれから「グランプリ」「優秀賞」他各賞を選出します。選考の柱となるのは、オリジナリティ、先進性、確かな技術、大衆性です。特に昨年度から短編部門内に創設された「学生賞」は、日本でアニメーションを学ぶ学生のための賞となります。会期中には劇場にて、ノミネート作品の数々を、国内外の制作者と共に楽しみいただけます。

◎アニメオブザイヤー部門

日本国内で上映・放送された作品の中から、アニメファンが選ぶ「アニメファン賞」、アニメ業界のプロが選ぶ『これは観ておきたい』と思う「作品賞」、『この人に注目してほしい』と思う「個人賞」が投票で選ばれます。

◎アニメ功労部門

アニメーション産業及び文化の発展に寄与した方々を顕彰するものです。アニメーションの技術、表現だけでなく、人材育成を含む教育活動、国際交流など、広くアニメーション産業の社会的地位の向上に貢献された方々に、この賞を贈呈いたします。

※TAAF2022の詳細は公式HPをご覧ください(公式HP: <https://animefestival.jp/ja/>)

<報道各位からのお問い合わせ>

東京アニメアワードフェスティバル実行委員会事務局(一般社団法人日本動画協会内)

担当: 黒田E-mail: press@animefestival.jp

<プリマステラ> 貝塚千恵 090-9418-1101 primastella316@gmail.com

※読者・視聴者からのお問い合わせは公式HPまで